

お知らせ

第49回岩沢まつりは8月14日(日)に開催。詳しくは後日配布されるチラシをご覧ください

岩 沢 通 信

第46号

2018年(平成30年)5月25日創刊
発行 岩沢アチコタネーゼ
岩沢地域振興協議会・岩沢分館
編集 石曾根 徹(地域づくり支援員)

公共事業現地踏査が3年ぶりに行われる

振興会役員、町内会長が小千谷市建設課に説明

7月5日岩沢地域を対象とした公共事業要望書の現地確認作業が各町内ごとに行われた。この日は佐藤町内会長協議会長、長谷川岩沢地域振興会長、高橋山谷町内会長、五十君市ノ口町内会長、駒井市議会議員と石曾根地域づくり支援員が参加。小千谷市建設課職員3人と要望書の出されている箇所を一つ一つ回った。地域からは消雪パイプの延伸や道路舗装の改良、側溝の改修などが要望として出されているが、小千谷市担当からは「予算も限られている中で即答は出来ないが持ち

帰って検討する」との回答があった。なお大崩の道路の亀裂は直ぐに対応すること。各現場を説明した佐藤会長は「とにかく現地に来てもらって、見ていただいたのはありがたい。今後も市役所に向いて進捗状況を確認し、積極的に要望したい」と話す。



出発前のミーティング



山谷町内



市ノ口町内

自転車の走行にご注意ください

7月31日に自転車のイベントが開催されます。午前7時30分に岩沢駅前をスタートした後、岩沢環状線の不動寺周辺と市ノ口まで自転車が走行します。先導車が付き参加者にも減速するよう指導いたしますが、沿道にお住まいの方も道路に飛び出さないなど十分ご注意ください。

ご迷惑をお掛けしますがご理解とご協力をお願いします。



移動支援事業視察に参加

小千谷市観光交流課による生活交通視察研修会が7月12日長岡市小国地区と妙高市で開催された。視察のきっかけは今年度から東山地区の路線定期バスの土曜日の運行

が休止となり、今後廃止も含めた中で、地域の生活交通をいかにして確保していくか考えなくてはならない状況になったためである。



岩沢からは諏訪部栄一福祉社会長と石曾根地域づくり支援員が参加。最初に小国地域の現状を知る為に長岡市小国支所にて説明を受けた。それによると平成3年から徐々に定期線バスの一部が廃止となり、さらには市町村合併により運行形態の変更、そして平成24年から

はNPO法人が生活交通事業を開始したと説明があった。午後妙高市瑞穂地区では5集落約90戸の地域であるが、平成29年にNPO法人を立ち上げ自家用有償旅客運送の登録を行い、コミュニティバスの運行を行っているとのことだった。





# 買い物支援バス試験運行再開

## 新たな運行曜日に変更し運営を模索中

6月から買い物支援バスの試験運行が復活し、利用者が喜ばれている。

この買い物バスは令和2年に小千谷市から貸与されているコミュニティバスの有効利用と福祉会の移動支援事業を目的として運行を開始。2年間は第2、第4の金曜日に運行していたが、利用者や運転手の新たな発掘を目指して今年度からは第2、第4土曜日に運行日を変更。現在新たな利用者の増加には至っていないが、運行を土曜日にすることで運転手は30代から40代の若者6名を確保した。運行2回目のこの日は朝9時30分に岩沢住民センターを出発し、利用者の各家庭を回り乗車。最初にスーパーマリー東小千谷店の敷地内にあるドラッグストアに車を止め降車。その後利用者はスーパーマーケットで買い物をし帰路についていた。



マリー東小千谷店に到着

担当者は「これまで利用者が固定していたので、新たな需要の掘り起こしを考えていた中で、岩沢福祉会の諏訪部米一会長から提案があり土曜の運行に変更してみた。運転手の確保は出来たが、利用者の増加はこれら。概ね65歳以上の方が利用できますので、例えば町場までの運転に自信のない男性や移動手段にない高齢者などおぞ」と話。



## 岩沢を支える会定例会開催

6月20日岩沢住民センターにて今年度2回目となる岩沢を支える会定例会が開かれた。長谷川新振興会会長が就任して最初の会であり冒頭に「今までの振興会の良いところは引き継ぎ、変えるところは変えていきたい」と挨拶を行った。



その後4月からの活動報告と今後の予定が示された。議題では今後の町内再編について「戸数の減少から近い将来町内運営が難しくなる地域が出てくる。そうなる前に町内合併など具体的な策についても話しを出していかなければいけない」との意見が出された。

## 道標を立て直し

小泉前振興会長から「小千谷市の文化財に指定されている函山城址や桂林へ通じる道の道標が新しくなっているから行ってみたい」と連絡があり、確認すると確かに以前は風雨でボロボロになっていた標柱が新しく取り替えられていた。どうやら作製者は前回と同じ山谷のSさん



## ブナの森・林道の整備を実施

6月26日毎年恒例の岩沢地域振興協議会と岩沢ブナ林を守る会で行われている函山城址草刈とブナ林の整備が行われた。参加者は朝7時30分に函山記念碑前やブナ林入り口に集合し作業開始。この日は日曇であったが森の中は蒸し暑く大汗をかきながら作業を進めた。ブナ林では



ブナ林下草刈り



林道草刈り



編集後記 一面の記事にありように久しぶりに対面での研修に参加して来ました。

長岡市小国地区に関しては「もったいない村」という直売所を運営して以前視察に行ったこともありましたが、お隣の地域であるのに生活交通を運営していることは全く知らず、驚きました。しかも株式会社事業展開もしているとのこと。また、妙高市では記事にも書きましたが、僅か90世帯、人口約250人の地域でありながら、NP

〇法人を設立しコミュニティバスの運行だけでなく直売市、食品加工、しめ縄販売などを行っているパワフルさに圧倒されました。共通して言えるのはどちらの地域も行政OBや元市議がキーパーソンとなり行政との橋渡しを行い組織を立ち上げたことでした。ただ、その中心人物も高齢化で次世代に受け渡す時期が来ていることも同じ悩みでした。私も何とか岩沢で若くて専任で行えるキーパーソンなる人物が現れてくれないかと願っています。